

大分大学大学院福祉社会科学研究所
入学者受入れの方針（ＡＰ：アドミッション・ポリシー）

基本理念

福祉社会の構築は人類恒久の課題です。そのために、グローバルからローカルまで、あらゆる段階で起きる社会的・経済的条件を的確に捉え、充実した福祉社会の構築に貢献できる高度で専門的な能力をもつ人材がますます必要になっています。

本研究科は、そうした社会的要請に応えるために、学際的かつ多元的なアプローチによる福祉社会科学の素養を身につけた高度専門職業人の養成に果敢に取り組みます。

教育・研究の目標

1. 学生の立場に立った教育体制のもとで、福祉を総合的・多角的に捉え、豊かな人間性と高い倫理観を有し、高度専門職業人としての社会的責任を果たす人材を養成します。
2. 社会福祉学・法学・社会学・経済学・経営学・教育学などの高度な社会科学の知識を修得し、高度な実践として、問題発見・解決・抑止のできる創造的で応用力豊かな高度職業人の養成をします。
3. 高い研究意欲、たゆまぬ探求心をもち、総合的な判断力と実践力を身につけ専門職業人として高度な技能を有し、地域社会、広くは国際社会で活躍できる高度職業人の養成をします。

求める学生像

1. 幅広く、深く学び社会事象の本質を探究していく基礎的能力を備える人
2. 福祉政策や専門的な援助に関する総合的な知識を意欲的に吸収し、積極的に課題に取り組む人
3. 自己の資質を高めるために積極的に取り組み、高度専門職業人としての能力を向上させたい人
4. 高度専門職業人としての社会的使命を明確にもち、これを社会において果たすために真摯に取り組む人
5. 福祉及び関連領域の現場で福祉社会科学の視点を活かしたアプローチにより企業、地方自治体、NPOなど地域社会、広くは国際社会において活躍し社会貢献する高度専門職業人を志す人

入学者選抜の基本方針

福祉社会の形成に必要な専門知識の習得と実践能力を高めることを目的としているため、基礎学力を重視しています。また、福祉を総合的・多角的に捉えることができる高度専門職業人の育成を目的としているため、幅広い分野からの人材を求めます。さらに、また社会人のリカレント教育への関心の高まりに応えるとともに地域社会との連携の強化を図ってい

くため、社会人としての経験にもとづく明確な問題意識と柔軟な発想を求めています。

この方針のもとに本研究科では一般入試、推薦入試（学校）、推薦入試（事業所）、社会人入試、社会人入試（シニア）、外国人留学生入試を実施し、学生を選考します。

・ **一般入試**

外国語、専門科目（社会福祉学、法学、社会学、経済学、経営学から 1 科目を選択）、小論文及び面接の結果並びに成績証明書により基礎学力および研究に必要な能力を総合的に判定します。

・ **推薦入試（学校）**

学部の成績が優秀な者で学部長または指導教員より推薦された者に対し、出願書類審査および口述試験により、基礎学力および研究に必要な能力を総合的に判定します。

・ **推薦入試（事業所）**

現在勤務中の事業所の推薦を受けた者に対し、出願書類審査および口述試験により、基礎学力および研究に必要な能力を総合的に判定します。

・ **社会人入試**

専門科目（社会福祉学、法学、社会学、経済学、経営学から 1 科目を選択）、小論文及び面接の結果並びに成績証明書により基礎学力および研究に必要な能力を総合的に判定します。

・ **社会人入試（シニア）**

出願書類審査および口述試験により、基礎学力および研究に必要な能力を総合的に判定します。

・ **外国人留学生入試**

専門科目（社会福祉学、法学、社会学、経済学、経営学から 1 科目を選択）、作文および面接の結果並びに成績証明書により、日本語の能力、基礎学力および研究に必要な能力を総合的に判定します。